

# 《ななふたニース》

●今年の流氷 流氷初日1月17日 接岸初日1月31日 海明け3月31日 終日3月28日 流氷期間71日間でした。

●アツケシソウ 秋の深まりとともにその色合いを美しくするサンゴ草（アツケシソウ）群落地が、最高の見ごろを迎えている。卯原内観光協会の松下伸次会長は「50年以上見ているが、これほどきれいな赤色に染まったのは初めて」と話している。

●厚岸町の名を種名にした唯一の植物アツケシソウが、同町内で「幻の植物」になっている。町は、能取湖の群落再生で実績のある東農大生物産業学部の中村隆俊准教授から助言を受け群落の復活に取り組んでいる。

●33年ぶり商業捕鯨 再開2年目となる商業捕鯨が道内でも1987年以来33年ぶりの操業が行われている。水揚げされた鯨肉は市内の鮮魚店や飲食店のほかオホーツク管内のスーパーにも流通している。調査捕鯨では手に入らなかった貴重な生肉も提供され、久しぶりの味に地元では期待の声が上がっている。

●ふるさと納税管内で明暗 総務省がまとめた2019年度のふるさと納税の実績で、オホーツク管内18市町村への寄付総額は前年度の2倍以上の計約100億8千万円に登った。寄付額で全国3位の紋別市（77億4千万円）が大きくけん引した。

●遺構が語る戦争の記憶 帽子岩のトーチカ 銃を撃つための小窓「銃座が確認できる。帽子岩のたもとに太平洋戦争ちゅうの1944年7月

建設された旧日本軍のトーチカが有る。

網走市周辺には米軍の北海道上陸に備えて造られたとみられる八つのトーチカが確認されており、このうち五つが現存する。帽子岩南側に位置するこのトーチカはコンクリートに鉄筋が使われておらず、砲弾を受ければ一発で吹き飛んでしまいうさだ。ただ、実際には使われることはなかった。

●特産品通販サイト開設 新型コロナウイルスの感染拡大で全国的に急増している巣ごもり需要を取り込もうと、網走商工会議所が準備を進めてきた専用サイトが8月1日開設された。27社100商品が販売され、会議所は「網走市民も全国の知り合いの人への贈り物として活用してほしい」と呼びかけている。 <https://abashiri.net>

●管内人口128人減 総務省がまとめた今年1月1日時点の住民基本台帳に基づく人口動態調査で、オホーツク管内の人口は、全18市町村で減少し、前年比1.47%（4128人）減の27万7502人となった。網走市は665人減の3万5039人だった。

●女満別空港路線増 北海道エアシステムは10月丘珠・女満別線の運航を8年ぶりに再会した。また、JCC大手のピーチエアは21年2月に成田空港便、同7月に関西国際空港線を上記の計約100億8千万円に登った。寄付額で全国3位の紋別市（77億4千万円）が大きくけん引した。

●競歩遠足 10月3日網走湖に隣接する大曲公園から「網走南ヶ丘高校競歩遠足」がスタートした。「遠足」とは名ばかりで真剣なマラソン大会だ。制限時間6時間50分で網走湖一周39kmを走る。1956年に始まり65回を数える。女子は野菜直売所「グリーンヒル805」スタート30kmを走る。小欄の頃は学校スタート・ゴールの47kmと記憶している。

●網走橋のトンネル開通 河川を生かして地域活性化を図る国土交通省の「かわまちづくり支援制度」に登録され、国と市が連携して整備を進め

にている散策路にある網走橋の橋台に10月トンネルが完成しエコーセンター2000の散策路とモヨロ

口貝塚館付近の緑地を結ぶ通路が繋がった。同じく網走川に架かる中央橋の橋台にも23年トンネルが造られることになっており、完成すれば河口付近の道の駅「流水街道網走」から大曲湖畔までを結ぶ河川敷の散策路が一体的に整備されることになる。

●「網走湖産しじみ貝」G1登録 農林水産省は網走市や大空町で生産している「網走湖産しじみ貝」を地域ブランドとして国が保護する地理的表示（GI）として登録した。網走湖産しじみ貝は大粒なヤマトシジミ、色や艶がよく食べ応えがあるため人気で、全国平均と比べ1.5倍の高値で取引されている。

●網走漁協は湯沸湖でシジミを人工的に繁殖させる事業に乗り出す。湯沸湖では約50年にわたってシジミが自然繁殖しておらず将来的には自然に再生産されることを目指す。

●網走、紋別 流水祭り中止 半世紀以上の歴史がある冬を彩る催し「あはしりオホーツク流水祭り」と「もんべつ流水祭り」の中止が決まった。網走は2月12、14日紋別も同11、14日に開催する方向で検討していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せないことが理由という。両市とも中止となるのは今回が初めてという。

●長谷川誠さん遺作展 当網走会の幹事で昨年5月に急逝された長谷川誠さんの遺作展が市立美術館で開催された。氏は南ヶ丘高校を卒業後武蔵野美術大学に進学。日本画の技法で海外の自然や街並みを描いているほか、故郷の風景も描いている。展示室には網走湖を描いた縦151cm横33cmの大作、トルコ・カッパドキアの哀愁漂う遺跡を参考に作成しています。

のほか、能取岬灯台や旧網走駅舎といった作品が展示されている。

●一日限りの満開シヨウ 5月中旬「幻の桜並木」と呼ばれる網走刑務所二見ヶ岡農場内の「二見桜並木が一日限定で公開された。並木は明治時代に受刑者が開拓した旧中央道の一部で1.2kmにエゾヤマザクラ約200本が並んでいる。市内のご夫婦が結婚記念日に合わせ訪れる「サクラにウグイス」という北海道らしい取り合わせを楽しめ、きれいな景色に感動した」と笑顔で話していた。

●コロナ直撃石北線 JR北海道が「単独では維持困難」石北線の苦境が続いている。新型コロナウイルスの感染拡大で全国的に外出自粛が呼びかけられた影響を受け、昨年度は乗客数と収益が大きく落ち込んだ。乗客の減少で特急も運休を余儀なくされ、地域では石北線の存廃の議論につながると警戒している。

●網走監獄コロナ休館 新型コロナウイルスの影響で、博物館網走監獄は1月18日、31日までの2週間、臨時休館する。地域を代表する観光施設のコロナ休業に、近隣の観光施設やホテル、市内の飲食店などで、驚きの声が上がっている。

●新庁舎基本設計案 市は、市中心部に建設する新庁舎の基本設計案を、鉄筋コンクリート造地上5階建て延床面積6397㎡、工事費42億3千5百万円とした。基本構想と比べ面積で1割、工事費で9億円ほど削減し将来の財政面を考慮しコンパクト化を図った。また、再生可能エネルギーの推進の観点から、屋上に太陽光パネルを設置するほか、冷暖房エネルギーの一部に地中熱を活用することを明記した。

●今年も総会、懇親会は残念ながら中止となりました。新型コロナウイルス収束を信じて来年の総会開催に向けて前進してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。

●網走のチラシを同封しています。おしいまち網走、あはしりエール便、あはしり応援人募集の三種類です。是非ご利用いただき網走を応援しましょう。

●今年も総会、懇親会は残念ながら中止となりました。新型コロナウイルス収束を信じて来年の総会開催に向けて前進してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。

## 事務局より